

PART-3

MMヤタベテスト・メモリアル

5.5kmオーバルのヤタベ周回路を舞台に繰り広げてきたヤタベ高速テスト。瞬間最高速314.52km/hをマークした童夢一零RLが絶対速度記録最速を誇る。

4 スーパーZのポテンシャルを探る!

フェアレディ280Zレーシング

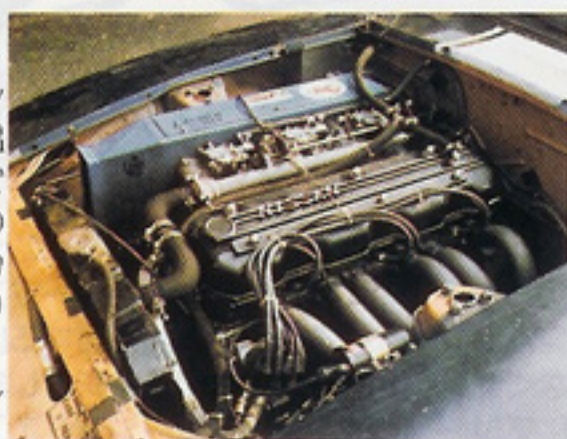
最高速度=245.32km/h

0~400m=12.93秒



このマシンの最大の特徴はクロスフロー・ヘッドの吸排気レイアウトを採るR390ヘッドを装着している点にある。L型のノーマルはカウンターフローのウェッジ型燃焼室をもつSOHCであるが、スポーツキットのR390ヘッドを装着、さらに排気量を2868ccまでアップ、300PS、32kgmの出力性能を発揮する。さて、このZホットバージョンのヤタベ・オーバル・コースにおける実測最高速度は?

というと、245.32km/hがベストデータである。さすがフジGC・スーパーツーリング部門で活躍するレーシング仕様らしく、エンジンはベストコンディションに保たれ、油圧は4.5kg/cm²、水温70度、油温100度、フルアクセル時の5速での回転は7600rpmであった。パワーのわりには最高速度が低いのは、コーナリングの安定性も重視したために空力的な付加物が多く、レーシングカーはこのドラッグ(抵抗)のためマキシマム・スピードはあまり速くないのである。0~400mの加速は12.93秒を記録、やはり、ストリートチューンとは一味違うタイムをいとも簡単にマークしている。



R390型クロスフローヘッドを装着したレーシング仕様。パワーは300PSを発揮。



5 MMヤタベテスト絶対速度記録チャンプ

童夢一零RL

最高速度=314.52km/h



数多くのモータースポーツ・ファンをひきつけて止まないル・マン24時間レース。ミュルサンヌ・ストレートでは350km/hのスピードをマークするというハイスピードかつ24時間の耐久レースである。そのル・マンに挑戦したドーム・レーシング・ティビジョンが谷田部で童夢一零RLの最高速をチェックした。以下のレポートは童夢ヤタベ・テストの実況報告である。「DFVのかん高いエキゾースト・ノートがしばらくの間、谷田部の森を揺がすと、ウォームアップがすむ。さあ、いよいよ本格的な最高速テストの開始だ。RLはピットを勢いよく飛び出すと、右回りでバンクに消えていった。DFVのメカニカルなサウンドが谷田部の森を圧倒し、そのこだまがスタッフの元に戻ってくる。RLは周回を増すごとに速度を上げる。速度はいよいよ300km/hに突入する。日本のレース界にとって、初めて300km/hの世界が始まるのだ。スタッフは「314.52km/hを記録したよ」と笑顔で報告する。」